

自治会活動の推進に関する取組調査

赤…質問に対する回答 青…活動への提案・希望 黒…状況説明等 緑…その他

ブロック	地区名	1. 加入率低下や役員の担い手不足等の問題・課題に対する取組について		2. その他、左記の課題に対して市自治連合会として取り組むべき事項の提案など、ご意見
		地区自治連合会の取組	単位自治会の取組	
中部 I	飛鳥	<ul style="list-style-type: none"> ・「あすかだより」の発行（年2回発行） ・あすかフェスティバルの開催（毎年秋開催） ・夏休み親子ラジオ体操の拡大支援（地域7カ所実施） ・あすか「にぎわい」フェスタⅠの開催（第一回目10月開催） ・災害時要援護者支援活動への協力 ・独自性をもって取組んでいる自治会への助成 ・在宅寝たきりの方への訪問活動（12月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域レガシーの継承（お祭り等） ・地域美化活動 ・地域住民の健康推進活動 ・地域コミュニティ活動（旅行、レクリエーション等） ・自治会組織の充実化（今後の担い手の確保・情報の共有化等） ・リサイクル活動の推進 ・冠婚葬祭での繋がりを ・安心・安全なまちづくり（みまもり、防災・防犯等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会へのあり方について、市住民へのアンケートを実施し、分析を行い対策を検討を要望。 ・単位自治会への財政的支援を行い、自治会活動を活性化を願う。 ・災害時の自治会としての対応が不安。 ・地域住民の交流イベント等の定期的な開催。 ・自治会活動がなぜ必要か、市長より市民に伝えて欲しい。
	済美	<p>役員の成り手を見つけることが困難になってきたので、それまでは現役自治会長から選んでいたが、令和元年から自治会長経験者からも選べるように規約を変更した。</p>	<p>当自治会は、当初管理組合と自治会の2本立てであったが、自治会員を担む居住者がいたので、平成22年に規約を変え、管理組合の中にコミュニティ部門として自治会を位置付けし、全世帯が自治会員となるようにした。</p>	<p>しみんだよりに奈良市自治連合会の取り組みなどを載せてもらう。</p>
	済美南	<ul style="list-style-type: none"> ・一人で各種地域団体の会長兼務することを避けながら、他団体の役員として参加する事で地域全体の問題・課題を認識し活動の広がりを目指す。 ・自治会長経験者で、積極的活動をされた方をピックアップし、メンバーに引き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の役員（会長・副会長・会計等）以外に、各種イベント開催や日常活動に関わって貰う人を「ふれあい委員」として任命し将来の役員候補としている。 ・高齢者になり活動への参加が体力的に難しくなっている。イベントの再考が必要。 ・会長の固定化を防ぐため、会則を変更し輪番制に。 ・高齢者が多く、行事参加が困難な組は、二組合同で参加。 ・40代、50代の方に積極的に声掛けをしているが、結果に結びつかない。 ・新規入居者に自治会入会の働きかけに行くと、メリット・デメリットを示してくれと要求される。自分の経験から、メリット・デメリットは受ける人の感性であり、自分は活動は大変だが、やり遂げた後の満足感、いろんな経験からの知識蓄積をメリットと捉えていると説明。 <p>新型コロナウイルス禍における自治会活動の実際 地域の集会所（春日公民館済美南分館）では、ウイルス感染防止の観点から、館内のエアコン・換気扇の清掃を専門業者に実施済み。非接触型体温計・非接触型消毒液塗布を常備、活用。密を避け自由に間隔を設定出来るように、テーブル付き椅子を購入、使用している。また、人と人の間に立てる透明のパーテーションを作成し、活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内清掃以外に活動していない。 ・会合やレク行事が出来なく、マスクや消毒液の購入のため、会員に意見を募り「商品券」を配布した。 ・全面自粛 ・人の集まるイベントは中止・延期。 ・会議は人数を絞り実施、LINE・電話の活用。 ・研修旅行や地域行事は中止、余った予算で消火器30台購入、設置。 ・会議・行事は人が密状態にならない方策を考え、極力実施。 	<p>市長は地域自治会、連合会の活動を認識・理解され、行政との協働の重要性を知っておられるが、他方市議会議員の中には、自治会活動を誤解されている人が一部にいますと聞く。そこで、各議員への組織の重要性を知らしめる活動の必要を感じる。</p>
	鼓阪	<p>鼓阪地区34の自治会は全て自治連合会に加入している。月1回の鼓阪地区自治連合会の役員会において諸問題を検討及び解決している。</p>	<p>鼓阪地区は先輩及び関係された方々の努力もあり、ほとんどの世帯が自治会に加入している。</p>	
	佐保	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動に関心・意欲の高揚を図るべく自治会長の研修会等を実施。 ・連合会役員は自治会長経験者と規定していたが、撤廃し現在は地域の有職者また活動に関心ある若者の参画可とした。 ・地域住民交わり機会の低下が自治会活動を衰弱化している要因であり、現在、地域の住民を交えた「大小イベント開催」を企画、一部試行開催している。 ・単位自治会間で世帯数にかなりの差があり、特に少数世帯自治会の活動衰退が顕著化している。現在、従来からの単位自治会の繰引き見直しについて検討している。 		<p>奈良市自治連合会活動の情報発信が少ないと思う。現在の年2回発行の固定広報紙のみならず、毎月の定例会議の内容等について情報をまとめ小広報紙として発信していただきたい。</p>
中部 II	大宮	<ol style="list-style-type: none"> ①連合会内に「環境部」「安全部」「共生部」を立ち上げ、自治会長等の委員参加の機会を設け、自治会の参画と協働を促すと共に住民参加の意識を高める。 ②併せて「青年会」のようなテーマ型団体を設け、催事・行事などの応援団など自由で且つ自分に合った参加の機会と交流の機会を設ける。 ③SDGsへの取り組みを他の組織と連携し取り組む活動隊（環境美化協議会とか）を創設し、地域住民全体へ輪を広げられるような活動を推進。 ④上記の活動により、人材の発掘・エンパワーメントによるインセンティブや意識づけなどによる人づくりの組織づくり。 	<ol style="list-style-type: none"> ①テケテケ会（歩こう会）、健康麻雀倶楽部、囲碁将棋倶楽部などテーマ型交流クラブを設立し、会員外の人にも呼びかけ親睦を図る。 ②避難行動要支援者を見守り、非常時に避難支援を組織的に行う「見守り隊」を設立し、非会員も含めた要支援者の登録と個別支援計画書づくりができる体制づくりと加入促進。 ③左記の自治会版を推進。 	<ol style="list-style-type: none"> ①加入率の分母の時系列的世帯構成内容等の基礎データの収集分析を。世帯構成の内容変化や賃借世帯やマンション世帯の変化も大きい。既に統計は採っていると思われるが、人口や世帯数の変化だけでなく、産業や雇用など含む多種多様なデータの収集と活用が望まれる。 ②専業主婦の割合が奈良は全国1位とか。ならば、主婦の活用は喫緊の課題。 ③無関心派の増大とか、後継者がいないとかよく言われるが、エビデンスのあるデータに基づいているのか、甚だ疑問である。 ④上記のデータは都市部と中山間部などでその地の違いもでていと推測されるので、地区地区でのデータ把握と分析が必要かと思料する。 ⑤定期的にアンケート（簡便なものでよい）を積み重ね、住民の気持ちを汲み取り変化を見ると同時に、対策も適時に行えるような体制づくりも必要かと思う。 ⑥市の交付金は、縛りが多すぎる。もっともって用途を自由にすべき。節操は必要だが、息がつまる。活性化や加入増の妨げになる。 ⑦行政サービスコストの削減とか、パートナーシップとか、コミュニティ自治とか言われる割に「円卓会議」が行われないのが不思議である。 ⑧いずれにしても、近き者喜びで遠き者来る、で、自治会にしる連合会にしる公平で楽しく多様なベネフィットに対応する魅力的な活動を求めてやまない。
	佐保川	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今年度より、自治会長会議を毎月実施している。連合会でHPの開設。 2. 自治会規模の違いで3つに分割して活性化のためのワークショップを開催。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 150世帯以上(11) 2. 100世帯まで(9) 3. マンション等自治会(7) 3. 自治会長会議で地域内の各種団体やNPO法人等の活動紹介 新人自治会長が各種団体の活動内容を知り、自分の自治会メンバーの活躍を知る。 4. 円卓会議（団体代表者会議）を2ヶ月に1回実施して互いの課題を出し合い、連携してコミュニケーションを充実させている。 5. 今年度の防災訓練では、防災スタッフ(80名)が自治会に帰り、非自治会員世帯に訓練のチラシを配布する活動を取り入れた。（自治会に帰ろう！運動） 6. 自治会＝27・地区社協をはじめ各種団体・小学校他の団体で、「あいさつ運動」を計画中。 地域内で顔の知らない人の増加の中で、声を掛け合うことからすべてが始まるため、活性化の取り組みとして上記団体の合意を得て、推進委員を輩出いただき協議中。 		

ブロック	地区名	1. 加入率低下や役員の担い手不足等の問題・課題に対する取組について		2. その他、左記の課題に対して市自治連合会として取り組むべき事項の提案など、ご意見
		地区自治連合会の取組	単位自治会の取組	
中部Ⅱ	大安寺西	<p>・平成28年頃自治会加入促進チラシを加入世帯へ配布。（自治会活動周知）</p> <p>・住民に直結する地域課題に関しては連合会が中心となり委員会を設置し取り組む。（大安寺西地区IC 仮称新駅周辺まちづくり委員会 H28年から）</p> <p>・自治協議会の立ち上げ。</p> <p>・地域課題解決につながる関係団体等との研修会の開催。</p> <p>・自治協議会ホームページに自治会加入が随時できるよう申し込みフォームの掲載、広報紙全世帯に配布（年5回）</p> <p>・行事等のタイムリーな発信をホームページにて通年。</p>	<p>・住民へのアンケート調査（自治会行事等の見直しや要望、会員ニーズの把握）</p> <p>・役員の活動ができない世帯には、免除など一定のルールを決めて行い、会員減少をさける。</p> <p>・安心安全な自治会づくりのため未加入世帯への加入案内状の配布やポスター掲示。</p> <p>・役員の仕事の簡素化。</p> <p>わが自治会は、自治会加入100%（303世帯）だが、少子高齢（70歳以上249名、6年生以下の子ども55名）そのものの自治会である。中間層が少なく、次の担い手がいない。金曜会と称して毎月第4金曜日に自治会館で食事会（飲み会）を役員はじめ有志30名で行い役員の成り手を勧誘している。</p> <p>現在、ほとんどの世帯が自治会に加入しているが、共働き世帯が多いため、役員は1年任期とし、長年にわたって負担がかからないようにしている。</p> <p>・自治会活動の説明をして加入を促す。</p> <p>・役員に関しては、会長がお願いに行く。</p> <p>高齢化、立ち退きによる加入者減で率先して行う人がおられない。また、役員経験を通じて自治会活動を理解してもらうため、毎年、会長・役員を経験しておられない方を抽選して指名する。</p>	<p>・自治会加入促進チラシの内容最新版の発行。</p> <p>・自治会活動をサポートするような研修会を連合会単位で実施や情報提供。</p> <p>・会員の減少により会費も減少するので、交付金の金額を削減しないでほしい。</p>
	明 治		<p>・役員においては数年間同じメンバーで継続している。旧村のメンバーだけでなく若い方にも興味を持ってもらう事業（花火大会等）を今後取り入れていきたいと思う。</p> <p>・自治会・水利組合・神社講の共催で年に3回、池堤防・神社・児童公園の草刈り。</p> <p>・昨年と今年は、コロナで実施していないが秋祭り（太鼓台、模擬店）。</p> <p>・自治会傘下の婦人会・子ども会の廃止を検討。</p> <p>・万青クラブの新規加入者が無く、更にクラブ内での高齢化が進み、存続の危機に瀕している。原因は、活動内容が知られておらず、勧誘も行っていない為である。対策として、活動内容のPRと、各種サークルの再整備を自治会がバックアップして進めようとしている。</p> <p>・教室（健康体操・ハガキ絵・音楽・パッチワーク・麻雀）の開催。</p> <p>・地蔵祭り・ブロック毎の清掃・ラジオ体操・長寿（古希、喜寿など）のお祝い・成人のお祝い・回覧（行事連絡など）地蔵さん（水替えなど）・ネットワーク・救急キット（全戸配布）</p> <p>・自治会非加入者に対する呼びかけは事実上難しいが、町内ふれあい運動・地蔵祭り・有志による神社の清掃活動などの自治会行事を通して興味を持っていただけるよう心がけている。また現在、自治会役員は15ある垣内から選出することになっているが、全ての垣内から選出できるよう検討しているところである。</p> <p>・会員個々、人の加齢による自治会活動への不安で「特に役員の担い手重荷」退会者が続出。抜本的対策を講じられない状況に苦慮している。</p>	<p>自治会加入者や、非加入者に対し、自治会行事や安心安全に関する注意喚起などを伝える方法として、印刷物による町内回覧を行っているが、それだけでは不十分だと思う。そこで、各垣内に情報発信できるような、掲示板的な物の設置を市に要求していただければ有難い。また、行政からの情報発信だけの一方通行ではなく、個々の町民の声が聞けるようなシステムの構築も大切であると思う。</p>
南 部	精 華	<p>地区全体として高齢化が進み、若者の流出が見られ、世帯数の減少が進んでいる。幼稚園、小学校の閉校は大きい。学校周辺跡地活用について市との協議を進める。役員については女性の積極的な参画を促していく必要がある。</p>	<p>役員の担い手不足が大きな課題。女性の参画を含め、一人ひとりがまちづくりに積極的に関わっていかうとする意識改革が必要。その方法を模索中。</p> <p>若年層の都市部への移住により、急速な高齢化が進みつつある。人口も減少傾向にあり、空き家も増えた。一方、残され年老いた両親を案ずる息子たちが徐々にUターンする傾向も見られ、一進一退の傾向にある。</p> <p>自治会役員の我々は、後継者が住み良いと感じられるような環境を整えることが必要と考え、若年層から積極的に意見を聞き、環境を整えていく術を探っているところである。</p> <p>古いしきたりや約束事を若年層に説明し理解を得たうえで、時代の変化に対応した新しい方策を共に作成する現状にある。</p> <p>現在の役員構成も70代、60代、50代と分布が広く、幅広い意見が交わされる。</p> <p>当自治会は、設立以来、地区住民の全員加入・活動を続けており、いわゆる加入率の低下はないが、高齢化により、活動の低下、子息の他地区への移住が見られ、歯止め策がない。</p> <p>毎年数回町内の道路・市道・林道の清掃（草刈り、側溝泥上げ）作業を行っている。</p> <p>①自治会員の協力・責任・交流・指導・将来にまで考えて自治会活動を実施している。</p> <p>②6月初旬・9月初旬の生活道路・農業で利用する国・県・市が管理している道路の草刈り。</p> <p>③墓の草刈り、清掃を5回/年実施し、①で活動している。</p> <p>④お寺・神社の行事・慰霊祭を昔から現在まで実施し、自治会員の結束を図っている。</p> <p>⑤自分の事だけでなく、自治会員は他自治会管理の生活道路の草刈り・側溝整備等に従事している。</p> <p>・町内清掃 ・不法投棄の見回り ・獣害の駆除</p>	<p>・60歳以上のお年寄りだけの世帯が半数を占めているため、今後自治会の行事に参加出来なくなるおそれがあると思われる。</p> <p>・菩提山町から北椿尾町、高桶町に流れる菩提山川があり、それに隣接する田畑の半数が荒れた状態で草、ツル、竹など主に茂り、川の流れが見えないわからない状態である。大雨の時、土砂がせき止められ、土石流による災害が心配される。</p> <p>「単位自治会の取組」を現況調査しているが、奈良市でも市内市街地・東部地区山間部もあり、「何にせよ全体を一つにまとめるのはどうか？」なぜならば、地域差があり、それに合わせた生活様式も存在している。「何が大切か」というと、項目、事案は、市統一できないということである。」※今までに経験してきたような駐在所の統合、小学校の統合、将来自治連合会の統合？等で、今後は、現住所では住民が生活できなくなる。※人口減少、税の減少、市民への対応はどうするのか。一今回の調査を実施されたのだと思うが、将来、次世代まで考え検討した政策の実施に向けた取組に奈良市民の意見を十分尊重していただくようお願いしたい。</p>
	大安寺	<p>自治会加入率の低下は、依然と続いている。ミニ開発、マンション等が増加しており、単位自治会長に加入依頼に行ってもらっているが、説明を聞くだけで、後日に返事をするとその場は加入するかどうか決めかねて、返ってきた答えが「地域との係わりが煩わしくて加入したくない」が大半である。</p> <p>取組として町内のイベント、秋祭り、地蔵盆など一人でも多くの住民が参加できやすい様に3密を避けて取り組んでいきたい。</p>	<p>単位自治会としては、例えばマンションの居住者さん対策としてオーナーや管理人さんに自治会への加入を勧めてもらっている。集合住宅の方々は自治会活動に関心が薄く参加したがらないが、オーナーさんが積極的にチラシの配布等をしてしたりして勧誘して下さっている。また、戸建て住宅へも自治会長が訪問して、自治会活動の案内や説明をもらっている。</p>	<p>連合会の役員のなり手がなく、現役員の平均年齢は72～74歳位。何とか60歳代の代表を探しているのだが、定年退職が65歳までになり、家でゆっくりしたいと考えての人が多く地域自治活動にはあまり関わりたくないの思いであるのが現状である。いっそのこと有償ボランティア活動として時間給を支給して、自治会活動への役員報酬を検討したらどうか。</p> <p>地域の課題として大安寺八条地区は低い土地柄、奈良市内の一時水が押し寄せてくる。梅雨明け前の集中豪雨により、あちこちで水害が発生している。大安寺地区都市計画整備対策協議会で、奈良県・奈良市に対策を要望しているが、なかなか進まないのが現状である。令和4年度までには道路水路等のインフラ基盤の整備を望む。</p>

ブロック	地区名	1. 加入率低下や役員の担い手不足等の問題・課題に対する取組について		2. その他、左記の課題に対して市自治連合会として取り組むべき事項の提案など、ご意見
		地区自治連合会の取組	単位自治会の取組	
西南部Ⅰ	伏見南	<ul style="list-style-type: none"> ・会長を含めた役員の任期を1年とし、各自治会員の負担を減らすとともに、持ち回りとする事で、地区自治連合会活動の内容に理解を深めて貰っている。 ・地域全体として取り組めるものとして、花火大会の開催を計画している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会長を含めた役員・組長は、1年毎の持ち回りとし、自治会員の負担を減らすとともに、持ち回りとする事で、自治会活動の内容に理解を深めて貰っている。 ・アパート入居者等については、家主から入居時に自治会への加入を勧めて貰っている。(効果はあまり出ていない。) ・組長から転入者への声掛け。 ・「自治会だより」等を発行し、自治会活動の周知と協力を依頼している。 ・サークル活動、年1度の親睦会等を通して、地域会員同士の交流に繋げている。 ・移動販売車導入に取り組み、買物難民を少なくする努力をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・非加入者との差別化を図っていかねば、加入率を上げるのは難しい。 ・災害など有事でないときあまりメリットを感じられない。地域互助が必要な老後や子育て時期の方を対象にする支援・補助の対策が必要。 ・高齢者の多い自治会では、仕事で忙しくしている現役世代の負担が大きくなり、自治会未加入者が増加している。特に町内清掃、草刈り、溝掃除などは、負担が大きく、自治体でも協力できない。
	西大寺北	<ul style="list-style-type: none"> ・連合会加入については特に取り組んでいない。 ・課題としてマンションの連合会への加入低下。 ・連合会役員の担い手については一部役員をくじ引きで決めている。 <p>自治会長の任期が1～2年で再任が殆どないので毎年担い手に困る。1年交代の自治会長も就任可能なように連合会役員任期は1年とし、再任可能期限は設けていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役員については、自治会内を2～3のグループに分け、グループ単位で役員を持ちまわる自治会が多い。 ・加入については、アパート・マンションの加入率が低い、建設時にオーナーに加入を依頼するぐらいしか手が無い。特にアパートは加入率が低い。戸建ての加入率は高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会レベルでも同じだが、目に見える活動・広報 ・非加入との差別化
	六条校区	<ol style="list-style-type: none"> ① 連合会加入自治会は34自治会あり、定例会では各自治会の抱える悩みや課題について議論する時間が無いので、5～8自治会で構成するブロック会議を隔月に開催して、悩みや課題を話し合い、解決するなかで自治会の必要性を認識してもらうようにしている。 ② 地域のふれあいまつりや乾川清掃などを通じて、住民の交流を図って絆を強めている。 ③ 地域広報紙「ほほえみだより」で地域の活動内容を発信して、各種行事への参画を促進するようにしている。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 各自治会のまつり等の行事開催時には、役員だけではなくまわりの人にもスタッフに入ってもらい、そのなかから新しい担い手を見つけ出している。 ② 新しいマンションやハイイツができるときは、入居前に販売会社や家主に対して、入居者には必ず自治会に入ってもらいように確約をとっている。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自治会に入るメリットを明確にする必要がある。(入らないときのデメリットでもよい) ② 行政に対して要望(市連合会からもお願いしていきたい) ③ ボランティア活動の有償化 <p>自治会活動やボランティア活動も無償では限界があり、制度として有償化をお願いしたい。</p>
	都 跡	<p>当地区にあっては、地区人口12,015人。連合会加入単体34自治会、世帯数3,680世帯、65歳以上人口3,677人(令和2年4月現在)で連合会、各種団体役員の高齢化にも先行きが懸念される事態である。当連合会においては地域定例会とは別に三役会議を月1回行い(都跡ふれあい会館)、担い手問題、課題、各種団体との連携を密に問題解決に向け努めている。</p>	<p>コロナ禍における地域内でのイベント、祭、親睦会等が中止になり、自治会での「つながり」「地域活動」の希薄化に懸念を感じている。出来る限り地域の人のつながりが深まる活動、仲間を探してみよう。水平展開運動、また、自治会内での「手助けサポート」「活動に触れ楽しみながら行う」副会長の立場の方を複数担い、今後の活動参画に取り組んでいる。</p>	<p>今年3月に実施した「地域づくりセミナー」、また、地域社会・安心まちづくりアドバイザーの方に活動について講演などをお願いする。</p>
	平 城	<p>平城地区は、自主防災防犯会、社会福祉協議会の三役は、自治連合会三役主体に構成し、女性防災、地域安全推進委員、民生児童委員の役員が参加している。</p>	<p>自治会長は、自主防のブロック長、社協の評議員を兼ねている。回覧等は支障なく行える。社協の通所型サービスBも各町主体的に取り組んでいる。</p>	<p>自治会(18自治会)の会長の大半は1年で更新されるが、積極的な方は、各種団体のメンバーになってもらえる。民生児童委員、地域安全推進委員、交通指導委員、少年児童指導員等は、連合会、自治会が協力して人選にあっている。</p>
西南部Ⅱ	学園南		<p>単一自治会の地域性もあり、一概に自治会規模を論じえないが、自治会活動の適正規模について協議に入っている。</p>	
	富雄南	<p>各自治会の課題や問題を提案、取りまとめし、情報の収集、活動の参考にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会設立50周年記念事業。コロナ禍の中活動中。 ・買物難民対策。移動販売の推進。コミュニケーションの場になる。 ・役員の負担率を解消案を検討中。「自治会会則検討特別委員会」と意見交換し、役員の人選にあたって、会員及び同居家族が80才を過ぎている場合、原則として対象から免除する。但し、会員が受諾する意見のある場合は、就任を妨げない。80才未満であっても諸般の事情により、役員就任が困難との申し入れがあり、且つ同居家族に替わり得る適任者がいない場合は免除、または就任時期の変更を行うことが出来る。 ・市道西部709号線、丸小橋西行き交通渋滞解消の要望書を、富雄南地区自治連合会会長上谷勝様の協力をいただき、市・奈良西部警察署への提出が終わった。 <p>当自治会では全戸入会しており、これまで入会拒否等はないので特に勧誘は行っていない。しかし、役員については、1年交代であり、特に自治会長と副自治会長に積極的になろうという雰囲気はない。</p> <p>230世帯あるうち199世帯に自治会員が減少していたので、令和元年に、80才以上の会員は役員を免除すると会則を改め、退会及び未加入の住民すべてを訪問して、再加入及び加入を呼びかけ、208世帯まで復活させた。</p> <p>今はとにかく、情報共有を高め、信頼関係を築くことに注力している。そのため、広く意見や要望が伝えやすいよう配慮している。役員間ではグループチャットを利用している。</p> <p>役員については、自治会内の各班より順番で回して選出していて、これまでのところ大きな問題は生じていない。</p> <p>当自治会においては、ほぼ高齢化で、担い手不足の取り組みようがない状況である。加入においては、1世帯のみの未加入であり、機会ある都度声掛けをしている。</p>	<p>左記市道の件、市自治連合会の協力をお願いしたい。</p> <p>当自治会では全戸入会しており、これまで入会拒否等はないので特に勧誘は行っていない。しかし、役員については、1年交代であり、特に自治会長と副自治会長に積極的になろうという雰囲気はない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会ホームページの構築に関し、ベンダーを集約するなどして構築・運用コスト面でサポート願えるとありがたい。 ・組織・団体が多すぎて、名ばかり役員化している。集約してムダを低減した方がいい。
	奈良 帝塚山	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の自治会活動の担い手育成を含めて「帝塚山地域青年団」を令和3年8月設立。各自治会より広く人材を求め地域行事全般について活動できる組織とした。 ・地域住民の自治会加入率78%、未加入の大半がマンション等の集合住宅。今後は、地域行事(夏祭り、ふれあい文化交流会等)への参加を通じて自治会への加入促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・役員数減や区割りの見直しなどの意見は前年から提案されるも現実には難しい。 ・役員の負担軽減を目標に取り組み中。例①:危険な草刈は業者に依頼。例②:計報連絡は以前は至急回覧で対応→後日の定時回覧で連絡。 ・前任者や年長者が、自分達が頑張ってきたことや、苦労して来たことを次の世代に引き継がせようとするのが厄介である。 ・65歳以上が50%を超え各役員が増える中、役員数は減らさずに自治会組織を運営するため自治会活性化委員会(6名)を設立し、役員活動を全面的にバックアップする体制を構築。 ・高齢者世帯は一人世帯が増え、足(車)の便も不自由。また若い世帯も共働き世帯が増え、自治会活動による時間の拘束を嫌い、担い手不足となっている。 ・老朽化した集会所の補修を検討、自治会の今後の展望を考慮して恒久的な修理が必要か意見収集中。 ・役員対策としては輪番制を取っていて、個別交渉で対応。新規入居者への加入促進は管理会社と共同で対応している。 ・当自治会においては若い世代が多数占めており、現在該当する課題等はなし。 ・加入率は問題なく、役員についても輪番制が定着していて特に問題なし。 ・自治会加入33世帯中8世帯は役員が出来ず、残り24世帯で3役(会長・副会長・会計)を担っている。 ・業務の分担。連合会の会議は会長、社協会議は副会長、防犯・防災は若いチームで分担している。 ・3年後更に役員担い手減となることから会員相互の理解と協力の上、業務の軽減を図る。 ・加入は全戸加入が維持。役員の担い手不足は外部委託等も検討。 	<p>専用の活動拠点を奈良市に要望も未だ実現せず。⇒実現に向けたサポートをお願いする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在連合会として富雄第三小中学校のランチルームを借りて活動。 ・また、協議会の仮拠点として来年3月に閉園する第三幼稚園の1室(10名程度)を借りて細々と活動。閉園後の活用も含めて奈良市に要望も明確な回答がない。 <p>(奈良 帝塚山地区自治連合会への要望等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会の横のつながりが無く、他の自治会の活動内容や役員の役割分担、コロナ禍での自治会活動制限判断等の情報の共有を図って欲しい。 ・今後、リモート会議、SNS、HPでの回覧等電子化が必要。回覧用パンフも業者配達にして欲しい。 ・高齢者でも共働きでも役員が出来る環境を整える。(会議は半分とか、業務の見直し等で)

ブロック	地区名	1. 加入率低下や役員の担い手不足等の問題・課題に対する取組について		2. その他、左記の課題に対して市自治連合会として取り組むべき事項の提案など、ご意見
		地区自治連合会の取組	単位自治会の取組	
西南部Ⅱ	学園三碓	加入自治会が38自治会中6自治会という圧倒的少数であり、かつ地区内には自分達で立ち上げた別の協議会が存在する状況。地域自治協議会の設立に向けての活動が、起爆剤になるかとも思いますが、道は遠いと感じる。	会長、副会長の選出については①自治会員の高齢化、若年層の自治会への無関心。②自治会での役割の多さ等あり、自らのなり手がなく仕方なく抽選等で選出している。会長の仕事との分散化を検討しているが、良案が見つからず苦慮している。	
	登美ヶ丘	令和3年4月総会にて単位自治会長任期が終了することをもって自治連合会理事に就任頂くことに会則変更を行った。それにより役員候補者をプールし、役員の担い手不足解消への足掛かりとした。自治連合会としては未加入世帯に対して”在宅避難リーフレット”を配布し、その加入によるメリットを訴えている。	単位自治会は未加入者に対して積極的な活動を実施していない。	あらゆる組織は加入することでメリットがあり、そのメリットがない場合は全て崩壊していく。市自治連合会に加入しているメリットは何なのか。担当役員を含め担当行政部門が真剣に考えなければならない。行政は市民を動かす都合のいい組織という認識ならば、早晚、組織無用論が市民より沸き上がってくる。
西北部Ⅰ	東登美ヶ丘	・防犯カメラの設置推進 当地区では連合会加入7町会のうち今年12月に1町会で防犯カメラ2台が稼働することになり既存1町会も含め計2町会で防犯カメラ設置済みとなる。これらの経緯も含めメカに関心の高い次世代の方に防犯への啓蒙を促していきたい。 ・『防災士』資格取得の呼びかけ 自主防犯・防災リーダー研修「防災士養成講座」への受講申し込み者の募集。本年度初めて研修に参加することが出来、テキストは勿論4日間の有名講師陣からの貴重な資料を地区連合会定例会時に資料の一部を紹介し、防災への知識向上に努めている。地区の避難訓練時に積極的に参加、実働していただけたのはやはり若い世代の人々である。	自治会には加入しているが役員にはなりたくない。(理由) ・高齢で80歳を超えている。→身体が不自由 ・独居老人、高齢の二人暮らし。 ・近所付き合いがあまりない。班長すら断る方も多い。 ↓ 結果として自治会を退会される方がぼつぼつ出てきている。地区が開発されて60年近くになる。自治会役員も2巡目となってきている。従来は役員は入居順できめていた。(もうすでに2巡目となり高齢化が進んでいる) ↓ 一昨年から入居順3世帯と直近入居世帯3世帯の新旧6世帯で役員を決めている。 ※地域で数年前アンケート調査をしたが抽選(クジ)という方法は避けることが出来ている。 ・町会としての草刈り・清掃…年2回定期的に町内清掃・グリーンサポート(毎月児童公園の掃除、緑化促進) ・ぼうた(コミュニティサロン)→月1回 体力維持のための体操及び散策。 独居、高齢世帯の増加→誰でもが負担なく引き受けられるような、役員となっていけるような組織づくり…業務(役割分担)の明確化 【〇〇ならできる。 それならできる】 ・懇親会を毎年秋に開催し、次年度役員候補者の紹介。 ・毎年秋に次年度の班長候補者・役員候補者の順番を表にして全世帯に配布。 特に班長は過去10年以上前からの当番経験者を明示して次年度への参考資料として配布。 (世代交代が進み、ここ数年空き家が増え更地となった跡地に若い世帯が増えてきている。直近1年間に200世帯の町会ではあるが7世帯もの若い世代が入居してきて子ども会への入会も急が増えてきている。)	
	平城西	平城西地区では6自治会で持ち回りで地区自治連合会会長を担っている。 今年度(令和3年度)までは以下の様に地区自治連合会会長を担う人は4年間、他の役員も担っていた。 1年目 自治会会長、地区自治連合会第1副会長 2年目 地区自治連合会会長 3年目 地区自主防災防犯会会長 4年目 地区自主防災防犯会副会長 ※上記の間は地域自治協議会、地区自治連合会、地区自主防災防犯会、地区社会福祉協議会の役員も兼務。 4年間は長いとの意見もあり、役員会で検討した結果、来年度(令和4年度)からは3年間とし、4年目は地区自主防災防犯会地区別委員(役員会への出席義務は無)となった。また、各組織のスリム化を目指し、兼務も極力無くす方向で検討中。	・当地区に新たに入居される方々へ、自治会の活動について分かり易い資料を準備した説明会を実施し、自治会加入に向けた推進活動を実施している。 ・自治会が抱える最重要課題は加入率の低下であるが、当自治会に今すぐ起きる問題とは思っていない。但し、量的にも質的にも危機に向かっていることは実感している。	・少子高齢化と人口減少や共働き家庭が多くなり、自治会の役員へのなり手が少ない。自治会未加入の中には「自治会に入ってもメリットがない」など損得勘定で拒否される方もおり、妙案はないが気長に安全・安心なまちづくりに協力が得られるよう各種イベントや広報などを通じて要請する。 ・自治協議会は今後戦略的人材育成を目指すべきである。対象は社会人(青年層)・大学生・高校生で、自治連合会が所属する地元自治体には各課に応じた担当課があるので、行政に対してそうした研修会を提供する様に要請することが有効である。 ・当地区でも高齢化が進み、自治会役員も世代交代が徐々に進んでいる。しかし、若い役員の方は、ほとんどが平日勤務されている方が家に小さな子どもがいる母親です。よって自治会役員会はほとんどが休日開催である。自治連合会の定例会も休日開催で役員会は平日19時から行っている。 今年度自治連合会会長として出席している会議に以下の会議がある。 市自治連合会定例会(12回/年)、市自治連合会西部ブロック定例会(3~4回/年)、小学校運営協議会(3回/年)、中学校運営協議会(3回/年) 上記の会議は全て平日平日日中開催である。 来年度、当地区の自治連合会会長は平日勤務されている。よって来年度は代理出席又は欠席の回数が増えると思われる。この傾向は続くと思う。会議の休日開催を検討いただきたい。
西北部Ⅱ	二名		・転入者に対して、会長が直接訪問して資料により加入を勧める。ほぼ100%加入。 ・役員は輪番制で交替で決める。ただ、会長のみ担い手の辞退が多く、うまくいっていない。 ・強制力がないため、お手上げの状態。 ・回覧を全く読まないで、押印だけで回すケース大。いかに読んでもらうか?文字数少なく堅苦しくなく、ユーモア交えた平易な文で表すようにしている。 ・自治会の中にはごく少数ではあるが「金は出さぬ、汗もかかぬ、口だけは出す」という人が必ずいる。こういう人達の存在に嫌気がして役を引き受けたがらないケースが大。 ・毎年役員は各班で順番制で対応しているが、毎年どこかの班で人選に苦労しているのが現状である。今のところ具体的な取り組みはしていないが、将来的には問題化すると思う。問題化してからでないと従来方式の変更は困難と思われる。以上のことから、ここ数年は現状維持となる。(順番制) ・担い手の少ない3つの班を合併して、そのうち1名のみ役員会へ出席し、役を担っている。数年前に始まったが細かなところでは問題点もあり、もう少し詰めていかなければという状況である。	・小中学校で自治会の役割を教えてもらいたい。
	青和	これからの自治会活動は、福祉・防災・防犯が主力となってゆく。これからは地縁関係諸団体の連携を密にし更に自治会活動を活力あるものにしてゆかねばならない。が、現状、人々の心は地域活動にそっぽを向けている。それでも自治会活動は続けなければならない。今年(R3年)青和地区全域に対して意識調査を実施した。これは、連合に加盟、未加盟を問わずに全域において行った。その結果、災害時や緊急時には助けてほしい、助けを求められれば手を差しのべたい。といった回答が予想以上に多かった。こうした気持ちが生み出したと現在試行錯誤しながら、種々実験中である。	・各自治会は出来るだけ会議の回数を減らす。事業、催事の規模を縮小し身軽になる。 ・出来る限り、各ボランティア団体と協議し、事業催事を統一簡素化する。小規模の居場所づくりを考える。小規模コミュニティーを通じ、小さな環をいくつもつくり、これらの環から新たなものを生み出したいと現在試行錯誤しながら、種々実験中である。	
	富雄	・定年退職した団塊の世代の人たちに支援していただく対策。 ・世代間交流(高齢者の元気のネットワークづくり) ・子育てに優しい地域を目指す。 ・地区主要団体との交流。 ・分野別対策	・住民同士の親睦、連帯意識を高める(日常生活の円滑化)策。 ・情報伝達の反映。 ・道路拡張と路面改修。(対策要望)	・社会の変化への積極的対応。時代の方向性を伝える。 ・情報、データの積極的収集及び提供。 ・必要情報の明確化。(実現性の高い具体案)
	鳥見	10自治会が加入しているが、1年の持ち回りで1年が過ぎればヤレヤレといった話がよく聞かれる。3月に役員の交代時期なので、連合役員の参加を定例会でお願いしているが、なかなか役の引き受けがない状態。	10自治会では団地がかなりの加入が年々減少している。これも団地役員2人の頭を悩ます点だがどうにもできない。他の自治会は加入はかなりの率で参加している状態。	自治会に参加(加入)すれば量的・質的にこれだけのメリットがあるという事があればよいのだが。市民である限り平等に受ける事が第一なので、市から受ける権利も平等なので参加は年々減少のようだ。提案はない。

ブロック	地区名	1. 加入率低下や役員の担い手不足等の問題・課題に対する取組について		2. その他、左記の課題に対して市自治連合会として取り組むべき事項の提案など、ご意見
		地区自治連合会の取組	単位自治会の取組	
	田原	人口減少による担い手不足が、どの団体にも発生しており、悩みの問題である。今のところ打つ手はないが、連合会として各種団体長と話し合いを持ち、地域全体の問題として意識付けをしている。若者（10代後半～20代）にも話しかけ、どのような地域にすれば住みやすくなるのか投げかけてみたいと考えている。		市自治連合会のメンバーは、かなりの高齢者が多いので、もっと若者と話し合える場など作って欲しい。どんな考えで地域自治に対していいのか知りたい。
	柳生	当連合会の自治会加入率は高く自治会員が少ないわけではない。ただ、会員の高齢化が進み、また、若者の地区外への流出が進んでいる。その結果、地区を担う人材、組織する団体の役員、会員が年々不足しているのが現状である。組織団体の維持すら難しくなっている。そのため長年にわたり行われてきた行事の必要性、そうでない行事の見直し、内容の見直し、単位自治会への労務、費用の負担軽減、連合会が単位自治会また組織する団体に負担のかからないようスリムな連合会を目指している。今の会員が進んで連合会の活動に参加できるように対策を講じる。	今一番の課題は人材不足による役員のなり手がいないのが現状である。自治会長、役員は2回目、3回目、複数年というのが現実化している状況である。仕事との両立は大変な負担がかかっている。年間を通し事業、行事をこなしていくのは大変な負担になる。今後連合会と協議を重ねながら役員の負担軽減を目指したい。	
	大柳生	<ul style="list-style-type: none"> 地域のふれあい活動（河川、道路等の草刈り、清掃等）約350名（一戸に一人） 全員参加による活性化。 連合会主催の地区戦没者追悼式。約85名。 連合会主催のチャリティーゴルフコンペ。145名参加。（チャリティー14万5千円、地区社会福祉協議会に） 今年度企画検討中。（全地区対抗スポーツ大会）全年令対象 伝統芸能（太鼓踊りの育成） 以上を通じて交流を深め、お互いの立場を知り、理解する事！ 	<ul style="list-style-type: none"> 当自治会は、加入率は100%に近いが、近年の高齢化、過疎化の進行により、加入戸数、人口が年々現象傾向にある。しかし、都会から農村への移住者等もあるため、出来るだけ自治会活動の良さを知ってもらい、地域でのふれ合いを進めるよう説明し、自治会加入を図っている。 町の自治会長については、町内6ブロックの各ブロックから出る自治委員6名の協議により、対象者の選定（年齢順）、就任依頼を行ってきた。これまでは人員も豊富で、各学年で一人か二人の方が自治会長に就任され、次の学年に降ろしてきたため、未経験者も沢山おられる。現在は人員も少なくなり、対象となる学年と次の学年の者が全員集まり、生年月日順に行うと取り決めた。しかし、この後5学年位は全く人がいないので大きな問題である。 各ブロックの自治委員は、生年月日順に降ろしていき、対象者不在となれば、年齢をあげて2巡、3巡している。 新たな住民に対しては、自治会会員または賛助会員としての加入を勧めている。 <p>役員については各隣組（垣内）快く就任、各々複数回経験してもらっている中、自治会長（副も含む）は一度きりでリタイアであったが、今年から2度目の務めをしてもらうことに。（極端な若手、中高年の不足）</p> <p>コロナ禍の室内における集まりは役員会等の少人数のみに。役員が積極的に活動し、環境整備等の屋外活動は万全の体制で町内全体で取り組んでいる。</p> <p>正副会長については、OB組が再度担い手として登場してもらうことに。隣組の役員については、かつて男の世界的であった人事が超高齢化（一人暮らし）もあり、男女関わりなく就任してもらっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 町内会は、マリーゴールド等の植え付け。 農道の草刈り、補修を実施している。 <ul style="list-style-type: none"> 自治会への加入については全戸加入していただいております、特に対策を講じていない。 自治会3役（会長、副会長、会計）については、年齢順になっている。（町内申し合わせ事項）今後、人口減少と高齢化による担い手不足は深刻な問題。 各垣内の組長については家の輪番。（年度変わり） 	
東部		地区内の世帯数は年々減少している（高齢化率50%以上になっている）。地区内主要4団体は毎月連絡会を行い連絡を密にしている。将来、協議会を立ち上げるときは連絡会を発展するつもりである。	<ul style="list-style-type: none"> 公民館の使用、活動に対する会場の無償提供。 防災活動、環境美化活動（消防団への支援等） 高齢者慰問、見守り（民生との連携）敬老会への支援等。 各組（各戸）の情報共有（原則月1回、その都度） 新規加入者入会金の見直し。（10万円→3万円に） <ul style="list-style-type: none"> 自治会長の役は2年交替で実施してきたが、昨年度より、再度2巡目を実施。 自治会への加入は住民全世帯加入としている。 自治会行事へは全世帯参加としている。 <p>当自治会では、自治会員減少と若年層の流出が続いており、その防衛策としての具体的な対策は実施していない。ただ、この状況に対処する為に、人足を減少させ、できる限り業者へ委託し、自治会員への労働負担を回避している。また、上記の簡素化に伴い自治会役員の兼務化を図り、できる限り役員数を減少させて時間的負担も削減していく対策の実施。また、秋祭り準備内容の簡素化による負担の削減等を実施しているが、これは現状事象に対処しているだけで、転居や若年層流出という根本的な防御の対処はできていない。</p> <p>当自治会は、件数も少ない中で自治会長の選任は2年を任期とし、選挙で選任するのが基本だが、最近では年齢順に選任している。</p> <p>地域住民の高齢化と若い人達の街への移住により、役員の担い手が減少し、交代のサイクルが短くなり、個人の負担が増えている。限られた人数しかいないので取組もできず、犠牲を払って行っているのが現状である。</p> <p>多くの家庭の子どもは大阪方面に就職しており、住民は減少傾向にある。自治会役員については、高齢者で1年おきに交代しているのが実情である。</p>	高齢者だけの世帯が多く、夫婦の内どちらかが亡くなると、子どもの家に引き取ってもらうなど、また公共交通機関も来年には廃止になる予定で、地域からの人の流出には歯止めをかけることができない現状がある。
	東里			<p>当地区に於いても少子高齢化が進み、2人世帯が大半で、1人世帯が増加している。今後進みうる交通難民への対応、支援が主要課題である。連合会として各地区が相互協力し課題の解決に注力願いたい。</p> <p>左記の状況から、将来的には、更に高齢化と転居は進むものと予想され、当町も限界集落になっていく事は間違いないと予想される。当町の位置は、市内中心部から車で20分足らずの場所にあり、道も全面対面通行が完成されており、交通の便としては、決して悪くない場所にあると思う。しかしながら、人が集まってこない主な原因は、周辺には、これといった観光地や施設がなく、あるのは産廃施設ばかりで、当町においては、周辺産廃施設から廃油が流出し、農作物に被害が出るといった住民には全く有難く無い事象ばかりが発生している現状である。また、市政にも東部山間に人を集めるといった提案は全く感じる事ができず、たぶん将来的にも希望がない土地といった状況からも若年層の流出は仕方ないとも思ってしまう。今、望む事は、このような大きな問題は地元の連合自治会や自治会で対応するには限界がある事を市政が、まず理解してくれて、住宅地の開発や市民がくつろげる善良な施設や、高校・大学・企業の運動部が練習や試合が実施できるグラウンドの誘致等を実施し、若者が山間に来る機会を増やす事でも、解決の一助になるのではないかと思うので、そういった施策を連合自治会から市政側には要望してもらえればと思う。</p>
	狭川	<ul style="list-style-type: none"> 車が通行しやすい道路整備（県道のゴミ拾い・道の周りの草刈り）や地区内の環境整備を実施、何とか住みよい魅力のある地域にと、日々努力している。 山間地のため、子どもの教育環境を高めるために、都市部へ家族全員が転居されることで、会員数が減少している。 各自治会への加入は、ほぼ100%に近いが、高齢者の一人住まい等で、施設に入られて住民票を移動される事例も増えてきている。 	<p>各地区の自治会長等の選出は、その地区で事前にルールを決められている。ただ、連合会や他の各種団体の役員は、次の人選に苦勞をしている。その時の役員繋がり等の人脈に頼っている現状である。また、地域をよく知っておられる高齢者の先輩役員から推薦を受けて人材を確保することも多い。しかしこのところ、70歳まで働かれることが増えているので困っている。</p> <p>年功序列等を考慮して、事前にあらかじめの順番が決まっている。その時の家庭事情で変更はなされている。世帯移動の少ない地域だから出来る役員選出と思われる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 奈良市東部地区に住む人々の、都市部へ行くための交通事情の改善に協力をいただきたい。 提出書類等の書式データがHPからダウンロードできると助かる。
	月ヶ瀬	当地区は6自治会で、自治会加入率は100%に近い状態である。新しく地区内に来られた方が若干加入されていないようである。しかし、人口の減少により担い手は不足している。また、このまま人口が減少すれば、連合会の運営が難しくなる。連合会は6地区自治会長と連合会長で運営を行い、大きな行事については、実行委員会や別組織が運営をし、連合会から補助金を支出している。	各自治会も人口減少で会長等については、1年交代が原則だが、いくつかの自治会は二回会長をすることがある。	人口の減少と高齢化を止めることは非常に難しいと思う。組織を極力小力化する方向で検討している。新しい組織をつくることは出来ないで、現組織の中で運営する様考えている。

ブロック	地区名	1. 加入率低下や役員の担い手不足等の問題・課題に対する取組について		2. その他、左記の課題に対して市自治連合会として取り組むべき事項の提案など、ご意見
		地区自治連合会の取組	単位自治会の取組	
	右京		<p>新たに入居される世帯への自治会勧誘活動。(回数は1回から3回ほど)</p> <p>子ども会や敬老会のプレゼント配布、バス旅行、ラジオ体操、Walking会などのイベント企画。</p> <p>地域ボランティアと協働でのランチ会、餅つき会、夏祭りなど。</p> <p>防災訓練、HUG訓練を通しての活動。</p> <p>地域課題共有化のため回覧や個別印刷物のポスティングなど。</p> <p>残念ながら「コロナ禍」で殆どの活動がこの2年間中止となり、自治会と住民との間に残念ながらコロナ禍の隙間が出来上がった。</p> <p>自治会への加入を促進するアイデア</p> <p>①右京地区内での「あいさつ運動」の推進で 住む人々との壁を低くする。</p> <p>向こう三軒両隣の状況を観察し、風通しを良くする事で互いの信頼感が増す。</p> <p>②公園の整備、花壇の整備で人々の集まる場所の5S(整理・整頓・清潔・清掃、街ぐるみで地域の子どもを育てる。羨も含まれる)</p> <p>③勤労世帯(共稼ぎ世帯)の自治会加入率を改善する。</p> <p>Wi-Fi環境下でのリモート会議、電話会議で定例会に自宅から参加できる環境作り。定例会議中、子ども達を預かる場所とベビーシッター制度の検討。自分達が得意としている分野の役割や活動を担当してもらおう。</p> <p>④高齢者の自治会離れを食い止めるには</p> <p>高齢者の見守りを民生のみならず自治会の班の協力や支援を得る。お助けHelper 隊の活躍、お買い物荷物の運び、電球交換、大工手助けなど。動き回る活動は自治会内の代行者にお願いする。自治会の班組の見直し。時間的な制約を受けない自治会活動が出来ないか検討する。</p> <p>自治会加入数改善に向けて、</p> <p>①活動している姿を住民に分かりやすく見える化に務める。</p> <p>地域課題に関する印刷物をタイムリーに回覧する。</p> <p>②地域自治会の主要役員(会長・副会長)の任期を2年として継続審議事項が途絶えない体制にする。</p> <p>③自治連合会に広報専任者をおいて、自治会活動の見える化をはかる。則ちホームページを活用した右京ニュースを定期的に配布する。</p> <p>自治連合会一各自治会と地域住民とのコミュニケーションを密にして行きたい。その為の人材を登用したい。</p> <p>④防災訓練、HUG訓練を定着させて、向う三軒両隣は密なる関係を築けるように地域防災意識を高める仕掛けを作る。</p>	
北部	朱雀	自治会離れ、会員数の減少に加え、高齢化の問題についての取り組みとして、まちづくり協議会で行われた“自治会長ヒアリング”の課題を受け、地域の活性化に向け、楽しい事業(キッチンカーフェスタや居酒屋)の開催とともに、地区社協や防災との協働により、今必要なことを優先順位をつけながら進めている。(防災マップ・QQカードの再発行・防犯啓発シートの全戸配布など)	コロナ禍でなかなか地域活動ができていないのが現状。その中でも、自治会員の士気を下げない対策として、懇親会や、敬老の祝い、子ども会のイベント開催、地域の防犯意識向上のための啓発、高齢者、要支援者への見守り訪問、集会所やふれあい会館を使った親睦行事を9月以降少しずつ進めている。	単位自治会活動へのテコ入れ(希望する自治会とそうでない自治会があるが)。 行政とのパイプ役として、迅速な情報の共有(市からなかなかスピーディーにタイムリーに情報が降りてこない)と地区の要望等の後押しをお願いしたい。 自治連合会の活動についても、同様である。
	左京	(今後の検討案も含む) ①地域内に住む多くの人が自治会活動の内容に興味を持ち、加入(参加)したいと思える幅広い年代が参加できるイベントを計画。 ・環境美化の促進(ふれあい清掃の充実) ・安心安全な街づくり(防災・防犯・見守り)活動の積極的PR活動 ・大人から子供が気軽に参加できる文化・レクリエーション ②各地域の賃貸アパート入居者の方々には、「自治会加入促進(加入のメリット)パンフ」&「地域広報誌」等の継続配布。 ③多くの住民対象イベントで「自治会加入促進」立て看板を設営、PR活動を実施。	・自治会組織のスリム化:自治会長に偏る業務の見直し ・加入世帯数の減少からの班世帯のバラツキ⇒班の合併に取り組む ・高層マンションでは階別班長を廃止、回覧作業を省き掲示板での広報活動に切替 ・高層マンションでの募金活動の変更(各戸回覧集金⇒自治会一括募金へ) ・自治会役員に役員報酬を支払う ・高齢会員は、役の免除&行事準備の参加免除、自治会会費の免除、減額 ・アパート賃貸人への「地域広報誌」配布による自治会活動のPR	
	佐保台		<p>(1)課題に対する解決方法</p> <p>1. 自治会会員数の減少</p> <p>・引越してこられた方へ役員が声掛けをして加入していただく。今年は2件の成功例。</p> <p>・引越してこられた方へは、自治会規約を持参し説明し加入に繋げている。</p> <p>2. 役員の選出</p> <p>・役員の選出方法を変えた。</p> <p>各班から選出⇒自治会全体で、あいうえお順での選出方法とした。会長経験者については、会長職を免除。</p> <p>・役員、班長については、年齢、体調を考慮して免除することで会員存続。</p> <p>3. 役員の仕事の多さ</p> <p>・役員の仕事が減らせるように協議中。</p> <p>・自治会役員負担を感じている方が多く感じられる。</p> <p>・自治会に対し、自治会以外の活動(研修会、イベント、防災活動等)を強要しないこと。</p> <p>・行政機関は、自治会が下部組織であるかのような対応を改めること。</p> <p>4. 役員の交代ができない。</p> <p>・みんなが無理をしないこと。</p> <p>・出来る人が出来ることをするように振り分けることをしている。</p> <p>5. 様々な団体が活動参加を求めないで欲しい。</p> <p>・ボランティアを募って行ってほしい。</p> <p>(2)今後の自治会活動として取り組むべき事項の提案</p> <p>・必要最小限の活動でよいと考える。</p> <p>・みんなが無理をしないこと。</p> <p>・出来る人が出来ることをするように振り分けることをする。</p> <p>・負担を減らす内容をしていく必要がある。</p> <p>・イベント等は、ボランティアだけで行ってほしい。</p> <p>・自治会からの離脱をいかに防ぐことができるか。</p> <p>・奈良市による企業誘致、税制優遇をぜひ進めていただきたい。</p> <p>・回覧板の多さ。</p> <p>・自治連合会以外に自治協議会がある必要があるのか?</p>	
都 祁	都 祁	都市計画課、産業政策課、また、県農林課等より開発許可された事業を前もって行政センターから説明願う。	単位自治会と地区自治連合会で事案を共有したうえで許可、不許可を決定する。	

文体等編集しています。